

《大会運営規定》

【総務上の確認事項】

<開会式>

選考会のため開会式はありません

※会場責任者の指示のもと動いてください

<閉会式>

選考会のため閉会式はありません

※会場責任者の指示のもと動いてください

<感染対策>

- ① 那覇市小学生バレーボール連盟の指定したチェックシートを各感染症対策責任者の責任のもと会場責任者に提出をし、チームを管理し、異常があった場合はすぐに報告をすること
- ② ガイドラインの規則に則って行動し、全チームで大会運営に協力すること

<注意事項>

- ① 引率者・監督は、自チームを掌握し指導できる、責任ある指導者であること
- ② チーム構成は、単独チームであり、他チームとの合同は認めない
選手及びベンチスタッフはスポーツ少年団の登録を済ませておくこと
- ③ 選手は、スポーツ障害保険加入し保護者の同意を得たものであること
- ④ 大会中の事故に対する補償は、スポーツ安全協会の傷害保険をもって行い、主催者側は応急処置のみ行い、その後の責任は負わない事とする
- ⑤ ネームプレートは各チームで作成し持参すること
- ⑥ 各会場のゴミはチームで持ち帰ること
- ⑦ 会場の片付け及び清掃は原則として、全チームで行うことし、日程終了まで待機すること
但し、自チーム周辺の清掃を行い、かつ、会場責任者の了承を受けて解散してもよい
- ⑧ フロア外でのボールの使用は一切禁止とする
- ⑨ フロア内での応援は大会運営者の許可がない限り一切禁止とする
※各会場校の指定の場所で応援してください
- ⑩ 学校敷地内及び周辺はすべて禁煙とする
- ⑪ 外履きシューズは各チームで管理し、玄関口での放置及び靴箱の使用は禁止とする
※各自にてシューズ入れ、又はビニール袋を持参して下さい
- ⑫ 忘れ物が非常に多くなっていますので、持ち物管理をチームで徹底して下さい
- ⑬ 学校の備品等を壊さないように保護者は子供たちを管理すること
万が一、破損させてしまった場合は速やかに会場責任者へ申し出ること

<駐車場>

- ① 各体育館の指定の駐車場に停め、それ以外の場所には一切停めないこと
※違反駐車によりレッカー移動された場合の責任は負わない
- ② 役員の指示に従い駐車してください

【競技上の確認事項】

<競技規則>

令和元年度（公財）日本バレーボール協会の定める小学生6人制競技規則による
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する
また、本大会特別規則を採用する

<競技方法>

- ① 男子Aブロック、女子Aブロックを開催する
- ② 予選リーグの後、決勝リーグを行う事とする
- ③ 試合はすべて3セットマッチとする
各ブロック3セットマッチ21点のラリーポイント制を採用し、2セット先取とする
3セット目は15点制とし、デュースの差は2点差がつくまで行う事とする
- ④ 各セットリードしているチームの得点が11点に達したとき、
吹笛により30秒間のテクニカルタイムを適用する
但し、3セット目は8点時(チェンジコート後)に適用する
戦略的な指導は禁止し給水・汗を拭うなどの行為に限定する
水分補給はベンチ横で行う
- ⑤ 試合は追い込み方式で行い、連続試合の場合は、最大15分の休憩をとる
- ⑥ 試合が終了したチームは速やかにコートを空けること
次の試合のチームは迅速に当該コートに集合し以下の事を行う
 - ・ラインナップシート／得点掲示用チームプレートを審判員に提出する
 - ・3分間の打ち合い及び公式練習の準備を行う
 - ※3分間打ち合いの場合はボールを使った練習を禁止し、速やかに打ち合いを行う(追込み方式)
 - ・3分間の打ち合いの後に試合を開始する(前の試合終了後5分後に試合を開始する)
- ⑦ 全てのブロックの1位は、沖スポ少派遣決定とし、
2位は順位決定戦(トーナメント方式)へ進出する ※三角リーグにおいても同様とする

<参加規程>

=チーム編成=

チーム編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする
但し、監督は必ず成人であることとする

=服装=

- ① 選手のユニホームは同一の物を着用し、背番号は1～99番とするが
競技運営上1～12番が望ましい
ユニホームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し、
誰もが見えやすいものにする事
※ビブスの着用も可とする
※ユニホームの同一とは、ユニホーム及びソックスを同じにする事をさす
- ② チーム監督・コーチ・マネージャーの服装は、統一された物を着用する事とし、シューズを履く事
但し、マネージャーが児童の場合はこれの限りではない
※スタッフの服装統一とは、襟付きのシャツ／長ズボン／同系色に揃える事をさす

③ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること

=大会使用球=

- ① 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量 4 号球カラーボールを使用する
「ミカサボール(MVA500)/モルテンボール(V4M5000-L)」(円周 62~64cm 重量 200~220g)
※ボール内圧については 6 人制競技規則に準ずる

② 本大会は、男子 A ブロック：モルテン 女子 A ブロック：ミカサ

=予選グループ戦における順位の設定方法=

- ① 勝率(勝数の多いチーム)が高いほど高順とする
② セット率(全試合の取得したセット総数/全試合の喪失したセット総数)が高いほど高順とする
③ ポイント率(全試合の総得点/全試合の総失点)が高いほど高順とする
④ ①~③が同率の場合は、チーム代表者によるクジで順位を設定する
⑤ 四角リーグで 2 勝チームが出た場合は、1 セットマッチを行う
⑥ 四角リーグで 1 勝 1 敗が 2 チーム出た場合は直接対決で勝利チームを優先する
但し、直接対決がなければ①~④を適用する

=各試合会場におけるコートでの練習について=

- ① 各会場ともコートの準備ができ、競技委員からのアナウンスがあるまでフロアに入ることはできない
② 第 1 試合開始 30 分前から、すべてのチームに 5 分間の公式練習時間を与える
但し、各会場競技委員長の指示に従うこと
③ 全規定の時間以降は、次のチームのみコート内での練習ができる
但し、隣のコートで試合中の場合はサーブ・スパイク・ノック等を禁止とし、パスまでの練習とする
④ 公式練習は 3 分間の打ち合いのみとする
⑤ フロア以外でのボールを使った練習は、建物内外にかかわらず絶対禁止とする
また、屋外でのアップの際は外履き用の靴に履き替えること

=審判員=

- ① 大会 1 日目の主審・副審はチームスタッフから出す事とする
② 大会 2 日目は、審判員長の指示のもと配置される
③ ラインズマン・点字係・記録係は各チームから出すこと

=その他=

- ① ベンチには、競技上必要な飲料水・救急用具以外の物品を持ち込まない
また、飲料水は床にこぼさないよう注意すること
※クーラーボックスは禁止とする
② 応援団の応援旗及び横断幕は試合のあるチームのみが掲示し、その際にプレーに支障のないように配慮する。また、試合終了時には迅速に撤去し、次のチームに場所を譲ること
応援団の応援用具は大きな音の出る鳴り物(太鼓・ベル・ペットボトル等)は禁止とする
※審判のホイッスルの邪魔にならないように配慮すること
③ 審判やラインジャッジへの批判・暴言・威嚇等の行為は厳に慎むこと

- ④ 選手への体罰・暴言・威嚇等の行為は、絶対に禁止とする
※上記事項を各チームの指導者は十分考慮すると同時に、各チームの応援団(父母会)への指導を徹底すること
- ⑤ 各チームは、ネームプレート、ボール拭き用のタオルを持参すること

【審判上の確認事項】

<ルール取り扱いについて>

- ① 児童の善い行いに対しては、フェアプレー精神の育成のため積極的にグリーンカードを出してください
- ② モップ、チームの荷物等は安全のためにベンチ裏、またはイスの下に置く
スペースが無ければベンチ横でもよい
- ③ 靴ひもを結ぶ行為は、安全を確保するためなので、特に許可を与えるということではないが、結び直しをさせる
但し、執拗に繰り返す場合は遅延行為になる
- ④ 監督はベンチでは記録席(副審側)に最も近いところに位置し、指定されたフリーゾーン内ならば一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えてもよい
(過度な応援やパフォーマンスは許可されない)
但し、サーブ許可の吹笛後は速やかにベンチに着席すること(ラリー中は着席すること)
- ⑤ テクニカルタイムアウト(給水のためのタイムアウト)時は、ベンチ横で給水させる
但し、戦略的な指導は禁止し、給水・汗を拭うなどの行為に限定する
- ⑥ 1セットにつき12回までの選手交代が認められる
- ⑦ ラリー中は、交換競技者はベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること
- ⑧ 審判に対する質問はゲームキャプテンのみに認められる権利である
要求する権利のない者が要求した時など、タイムアウト及び競技者交代時の不当な要求は拒否される。また、プレーに影響を及ぼしたり、同一試合中に同一チームの競技参加者が不当な要求を繰り返したりした時は、そのチームを試合の遅延として処置する
- ⑨ ユニホームからはみ出したアンダーウェアは禁止する
- ⑩ 反スポーツマン的行為や行動に対しては厳正に処理する(退場・失格)
- ⑪ 髪の毛がネットに触れた場合、からみついたり等しない限り、反則としない
- ⑫ デット後のボールは速やかにサービングチームに送ること
- ⑬ トスは副審側で試合開始前に行う
但し、トスにはキャプテンが立ち合い、キャプテンマークのついたユニホームを着用する事

<コートワイピングについて>

コート内の選手はハンドタオルを身につけ、コートワイピングは選手自身がハンドタオルで行うことを原則とする
タイムアウト及びセット間はベンチの者がモップを使用して拭いてもよい
但し、それ以外のモップの使用は、審判の指示に従うこと

<審判について>

予選リーグの審判は、同リーグ内の空きチームにて行う。大会冊子の審判割当を参照ください
※試合後、審判は次の試合のコイントス・打ち合いを行うこと

<その他>

- ① 主審は試合の最終決定者である
但し、主審は判定や取り扱いの疑惑等について、主審の判断でコントローラー／副審判長／審判長の意見を聞くことを許可する
- ② 主副審はサービスオーダーの確認に注意を払う
- ③ 審判を行う際は審判服を着用しなければならない
- ④ 公認審判資格を持つ方は、2日目以降のご協力をお願いいたします

お願い

那覇小連役員も、その多くがそれぞれのチームを抱えながら頑張っております
ぜひ、各チームのスタッフは大会
運営のご協力をお願いします